

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

5月22日（月）午前10時～

1	栗山尚記	議員	（60分）
2	児玉悦朗	議員	（60分）
3	吉村アイ	議員	（60分）
4	館花一仁	議員	（60分）

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	15:10
5月22日（月）	栗山尚記 （60分）	休憩 10分間	児玉悦朗 （60分）	休 憩	吉村アイ （60分）	休憩 10分間	館花一仁 （60分）	

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 地域医療体制について					
(1) かづの厚生病院の産婦人科及び分娩取扱機能維持のためのこれまでの活動について			① 議会初日の行政報告にもあったが、分娩の取り扱いについては大館市集約が検討されている。かづの厚生病院の分娩機能を維持するために、市としてどのような活動をしてきたのか、今一度伺う。		
(2) 産科医確保のための今後の施策について			① 全国的に産婦人科医が不足している中、産科医確保のためにはこれまでの活動に加えて、多様な手段を戦略的に実行する必要があると考えるが、計画はあるのか伺う。		
(3) 産科医も含めた鹿角市の医師確保施策について			① 医学生修学資金貸付や、講座設置事業費寄附金といったこれまでも行ってきた医師確保政策の経過や成果、将来見通しについて伺う。		
2 花輪大堰改修事業について					
(1) 市の関わり方について			① 事業主体は県であるが、一部事業費を負担する市として、どのような関わりをもって進めていくのか伺う。		
(2) 地域住民への説明や周知、意見集約について			① 増水時の対策や排雪時の使用、私設橋りょうの改修など、地域住民にとって生活に大きく影響する事業だと思われるが、しっかりとした説明や周知、さらには意見集約をしっかりと受け止めた事業が行われるものか伺う。		
(3) 大堰流域の景観保存について			① 大堰はかんがい用水路や防火用水路としての役目を果たしており、本事業の目的はそれらの維持のための老朽化対応の工事ではあるが、地域にとっては長い歴史と趣を形に残す。守るべき景観でもあるが、景観保存の計画は盛り込まれるものか伺う。		

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	栗山 尚記	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3		学校等再編計画について			
		(1) 再編協議会等の進捗状況について		① 平成 31 年度の十和田・末広両小学校の統合を始めとする「学校等再編計画」に対する再編協議会等、統合を前にした準備会議などの進捗状況を伺う。	
		(2) 通学支援策について		① 通学校の変更により、負担の増える生徒が発生する。現段階の基準では、準遠距離の通学には金銭的負担が発生する。義務教育において、学校再編によるこれらの負担は生徒側に課すべきではないと思うが、考えを伺う。	
		(3) 通学路の安全確保について		① 通学路の変更により、新たな危険箇所や問題が多数発生すると思われるが、これらに対する事前準備・対策・対応は万全でなくてはならないと思うが、現状と今後の計画について伺う。	
4		ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事」について			
		(1) 鹿角観光の素材としての花輪ばやしの生かし方について		① 大日堂舞楽に続き、ユネスコ無形文化遺産に登録された「花輪ばやし」を鹿角観光の目玉として効果的に活用し、通年で観光客を呼び込めるような施策が必要と思うが、考えを伺う。	
		(2) 大日堂舞楽との相乗効果について		① 現状は、土崎・角館との登録を記念した県単位でジョイントした売り込みが進められているが、ユネスコ無形文化遺産が市内に 2 つもあることを全面的に生かした観光戦略も非常に魅力的だと思うが、考えを伺う。	

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨		
1 人口ビジョンと総合戦略について				① 人口ビジョンでは、自然減及び社会減の現状をどのように分析し、どちらの人口減を抑制することが目標人口の確保に効果的であると考えているのか。また、年齢層別に対策を講じているのか伺う。 ② それらを実現するために、総合戦略ではどのような事業を進めているのか。また、期待する効果は何か伺う。		
2 市政への民意の反映について				① 市民本位の市政運営を行うために、市はどのような方法や手段で民意の把握に努めて、市政に反映させていくのか伺う。 ② 市民と行政の意見の隔たりがあった場合には、どのような対応をするのか。市長にとって市民とはどのような存在なのか伺う。 ③ 公共施設の建設に当たり、市民自らが建設の機能や配置等について主体となって決定したことがあるのか伺う。 ④ 日常における市民の困りごと相談、道路や福祉関係での要望などについて、常に市が受けることができる体制にあるのか伺う。 ⑤ 市では、新年度から「理事職」を新たに設けたが、「議会への説明もなく市長の一存で決定することは議会無視である」との意見の報道があったが、市の考え方を伺う。 ⑥ 現在の副市長の職務内容と、女性副市長設置の案について当局の見解を伺う。		
3 ストーンサークルの世界遺産登録について				① 世界遺産登録に向けての今後の日程と推進の方法について伺う。		

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
4	認知症総合支援事業について			① 認知症の方々の現状と課題、事業の目的、内容について伺う。 ② 医師による診察によって認知症と診断され、免許証を返納した方の県のデータを共有し、本市の認知症総合支援事業に活かさないか伺う。 ③ 軽度者介護の市町村移行に伴い、さらに地域の実情に合わせたサービスの提供が行われているのか伺う。	
5	中高齢者の移住定住の推進について			① 中高齢者の移住定住を核にした新たなコミュニティ、C C R C 構想について、本市ではどのように捉えているのか伺う。 ② 中高齢者の移住希望者に対してどのような対応、移住促進策を講じているのか伺う。	
6	空き家対策について			① 本市の空き家の現状について、件数と実態を伺う。 ② 本市の施策「田舎のねじろ」の利用状況を伺う。また、居住できない物件については、今後どのような対策を講じていくか伺う。	
7	水田政策について			① 平成 30 年度に鹿角地域農業再生協議会が自主的に集荷数量を配分すると報じられているが、配分数量や配分方法についての見通しを伺う。 ② 本市の地域ブランド品目である淡雪こまちの作付面積が増えない原因は何か。面積拡大のための今後の対策を伺う。	

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	2	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
8 投票率の低下について				① 市議会議員選挙での 18 歳、19 歳の投票率はどれくらいであったか。また、全体の投票率の低下の原因は何か。対策として移動式の期日前投票所（車）を採用できないか伺う。	

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	男女共同参画の推進について			① 今年度、市職員の管理・監督職への女性職員登用率は何%か。 ② 平成 32 年度までの目標である 30%を達成できる見通しを伺う。 ③ 今年度の採用職員 12 人の中で女性は 2 人とのことだが、ここ 3 年間の新規採用職員の男女比を伺う。	
2	放課後児童クラブについて			① 花輪地区は登録者も多く、時間の延長等で職員にかかる負担が大きくなっていないか伺う。 ② 児童を守るため、希望があれば小学生全員を対象とした放課後児童クラブに将来できないか伺う。	
3	中心市街地の活性化について			① まちなかオフィスができ、利用者の往来で商店街に活気が生まれているとのことだが、どのような調査を行ったか伺う。 ② コモッセと商店街との連携事業で、中心市街地の賑わい創出を行っているとのことだが、今後の新しい取り組みについて伺う。	
4	花輪ばやし屋台の商店街移転について			① 「花輪祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録証書を授与された後に、花輪ばやしの屋台をまちなか観光の観点から、商店街に収納庫を作り、展示することにしたとのことだが、そのことに対し、今後の計画を伺う。	

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分	No.2
質 問 事 項				質 問 要 旨		
5 障害者差別解消法について				① 障害者差別解消法が施行されてから 1 年が経過した。市民に対する研修・啓発活動をどのように行ったか伺う。		
				② 障がい者本人や障がい者団体から、この 1 年間でどのような問い合わせがあったか伺う。		
6 18 歳選挙権について				① 3 月の市議会議員選挙における、18 歳から 25 歳までの投票率を伺う。		
				② 6 月に行われる市長選挙を前に、若者の投票率向上のための取り組みについて伺う。		

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1 子育て支援対策について (1) 出生数の推移について			① ここ 2 ～ 3 年本市の出生数はどのように推移しているか。また、昨年度からスタートした「ファーストベビー祝い金」の対象となる第 1 子の出生数は前年度と比較してどの程度伸びたのか（減少幅が抑制されたか）伺う。		
(2) ファーストベビー祝い金について			① 「地域の宝祝い金」を第 2 子以降に支給していたものを「ファーストベビー祝い金」に変えた平成 28 年度の実績を踏まえ、拡充の予定はあるか。また、昨年度から金融機関と提携し、結婚や子育てに關しての貸し付けに対して利子補給を行っているが、利用実績はどのようになっているか伺う。		
2 結婚祝い事業について (1) 婚姻届について			① 本市の婚姻届受理件数と市外の方の婚姻届提出件数について伺う。		
(2) 結婚祝い品について			① 交流人口を増やすことは、周囲や SNS への投稿などにより良い PR 効果も生まれることと思うが、交流人口増加と地域経済の活性化のため、本市の窓口婚姻届を提出した夫婦に結婚祝い品を贈呈することはできないか伺う。		
(3) ご当地婚姻届の導入について			① 本市でも「まちキュンご当地婚姻届」を導入し、たんぽ小町ちゃん、あるいはだんぶり長者と大日堂のような結婚にゆかりがあるもの、もしくは花輪ばやしや観光名所などを取り入れることができないか伺う。		
3 観光について (1) 「十和田八幡平観光」について			① 昨年、十和田八幡平国立公園など 8 カ所を重点整備することが決定された。十和田八幡平国立公園についての計画は十和田湖の廃業したホテルを国が撤去することのみ報道され、具体的な動きが見えていない。そこで、今回の計画の概要と、本市に關連する国等の計画、また、關連して本市が独自に取り組む事業などがあるのか伺う。		

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2)「まちなか観光」について			① これまで、まちなか観光は「でんぱく」として取り組んでいたと認識しているが、今後、旧鹿角郡公会堂の改修工事も終了し、まちなか観光も魅力アップが図られると思われるが、どのような取り組みを行う予定なのか伺う。		
(3)「駅を起点とした観光」について			① 今回の駅前広場整備では、最小限の整備となっていると思われるが、将来的な花輪線存続を含め、本市において花輪線をどのように観光や生活の足として確保するための取り組みを行うか伺う。		
(4)「ユネスコ無形文化遺産のPR」について			① 昨年度「花輪祭りの屋台行事」がユネスコ無形文化遺産となったことにより、「大日堂舞楽」に次いで本市では2件目の登録となった。2件も無形文化遺産が登録されるという、国内にもあまり例がない本市の優位性をどのようにPRしていくのか伺う。		
(5)「道の駅防災計画」について			① 東北管区行政評価局では、青森、宮城、山形3県にある「道の駅」の約4割が市町村策定の地域防災計画で、避難所や防災拠点に位置づけられていないとの調査結果を公表している。本市では「道の駅かつの」のほか、大湯の（仮称）湯の駅でも道の駅指定を目指しているが、避難場所の指定はどのようになっているか。また、非常用電源や衛星電話など代替通信機能、ガソリンや石油などの燃料備蓄は現時点でどのようになり、無い場合は将来的にどのように整備していく方針か伺う。		
4 交流事業について					
(1)「移住促進」について			① 鹿角市では移住専属の部署を設置し、地域おこし協力隊の制度を活用し「移住コンシェルジュ」として活躍していただいているが、きめ細やかな取り組みにより県内でもトップクラスの実績を上げている。今後も採用予定と伺っているが、今年度はどのような取り組みを進めていくのか伺う。		

平成 2 9 年第 3 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	4	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(2)「大学等フィールドワーク誘致」について				① 高校を卒業すると大学進学のため市外に出て行かなければならない本市にとって、大学生が市内を訪れることは、それだけでも価値があることと思う。そこで、これらの取り組みを拡大し、研究テーマとして市民や市内小中学生との交流、企業との共同研究、火山・防災など本市に対してフィードバックできる調査研究なども補助対象としてはいかがか。	
5 観光交流課の設置について				① 鹿角市では観光に関する業務を産業活力課という名称で行っているが、課の名称に「観光」の文字が入っていないのはいかがなものかと思う。観光を前面に出した課の名称の検討と、交流のあり方について伺う。	

